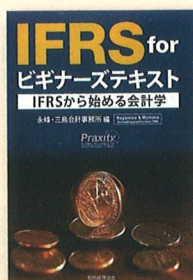


# TOKYO CPA ライブラリー

## IFRS for ビギナーズテキスト —IFRSから始める会計学—

永峰・三島会計事務所 編  
税務経理協会 刊  
A5判 592頁  
定価 4,620円（税込）



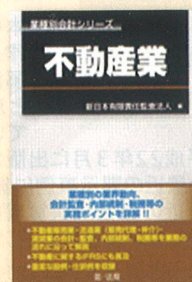
本書は、外資系企業の日本進出に際しての会計・税務サービスに強みをもつ会計事務所が記したIFRS入門書である。巷には数多のIFRS入門書籍が出版されているが、本書は、そのような出版物では満足できない読者を対象とした非常に特徴的な入門書と言えよう。総論及び各論の全ての論点がQ & A方式で記載されており、読者が気になる論点のみをきいて読むこともできる構成になっている。

本書の最大の特徴は、「IFRSは今までの会計と何が違うのか」「IFRSが導入されると日本の会計はどんな影響を受けるのか」という最も核心的なテーマについて、社会構造の変革や資本市場におけるトレンド変化といった歴史の変遷を具にひも解くことで、詳細に説明している点である。アメリカ型金融資本主義が台頭してきた歴史的背景、ファイナンスと会計との学問領域の比較、ストック・オプション・ブームにより生じた「所有と経営の分離」から「所有と経営の一致」への回帰等々、普段あまり考えることない会計の根幹に関する話題を平易な言葉で記していることから、「ファイナンスを学問的プラットフォームとする財務報告体系」たるIFRSの理解をより深いものにしてくれる。

なお、IFRSはムービングターゲットとも言われており、常に基準は新しく改正され続けている。実際のIFRS導入の検討に当たっては、必ずIFRS基準書を直接参照すべきであることを申し添えておく。

## 業種別会計シリーズ 不動産業

新日本有限責任監査法人 編  
第一法規 刊  
A5判 390頁  
定価 3,780円（税込）



本書は、大手監査法人の不動産業担当者から構成される不動産業研究会のメンバーにより執筆された不動産業界を紹介する著書である。

本書の構成は、まず不動産業の概要として、業界の特色や業界動向、IPOにおける留意点等について記載があり、不動産販売業、不動産流通業及び不動産賃貸業という3つの主要事業における業務プロセスごとの内部統制及び会計処理について紹介があった後、不動産の証券化・流動、不動産評価、IFRSにおける不動産の会計処理及び不動産業の監査について、記載されている。

本書の特徴は、各章において一般的な会計論点が記載されているだけでなく、各業界の特徴やその内部統制から特殊な資金調達手法や税務についてまで、その業界に実際に従事する方々の業務を理解するための一助にもなりうる網羅的な論点が記載されているところにある。特に、「第8章不動産業の監査」においては、不動産販売業、賃貸業及び流動化・証券化に関する監査手続を実施する上で、監査人として保持しておくべき着眼点を現場レベルでの実践的な視線から詳しく述べられており、不動産業の監査に従事する方々にとっては、大変参考になる情報が網羅的に掲載されている。

税務や会計監査において不動産業に接することがある方にとっては必携の書といえよう。

（鈴木拓也）